


稲沢市立高御堂小学校

派遣日時	令和7年12月8日(月) 11時40分～12時25分
対象者	5・6年生(50名)・教職員(5名)
外部講師	愛知県がんセンター 伊藤秀美・元若年者がん患者会 加藤那津
テーマ	がんについて知り、今、自分にできることを考えよう
ねらい	がんを身近なものとして捉え、今自分ができることが何かを学習し生活と結びつけることができるようにする
実施内容	<p>【事前の準備・打ち合わせ等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講師の方との事前準備は、9月下旬にメールにてご挨拶と打ち合わせの日程調整の連絡をし、打ち合わせ日を決定した。打ち合わせ日までに、事前アンケート結果、本校の児童の実態をメールにてお知らせした。事前にいただいた資料を関係職員で検討し、気になる点や疑問点をお伝えした。オンラインにて打ち合わせを行い、当日の流れの確認や時間配分、配慮児童についての対応方法など細かい打ち合わせをした。 ・学校側の事前準備は、がん教育をするにあたり配慮が必要かの確認の案内文書を保護者に配信した。その後、事前アンケートを実施した。また、担任から児童へがん教育の時に不安や怖い気持ちになった場合は必ず近くにいる教員に伝えることや退出も可能であることを伝えた。がんで親を亡くしている等のこちらが把握している事前情報を関係職員に伝え連携をとった。当日の児童の動きの確認を細かく打ち合わせした。 <p>【当日の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童が体育館に整列完了後、講演開始。伊藤先生の講演の後に加藤さんの講演を行う。その後、質疑応答時間5分。2名の児童が感想を発表し終了した。5時間目にはふりかえり書かせたり、事後アンケートを実施したりした。
成果・感想	<p>【成果】</p> <p>伊藤先生の講演を聞き、アンケートの「がんの学習は、健康な生活を送るために重要だ」という項目では重要だと思う児童が授業前より20%増加した。「生活習慣を整え健康な体づくりに取り組もうと思う」児童が14%増加した。理由として考えられることは、がんは身近なものであることやがんになりにくくするために自分たちができることについてのお話を聞いた結果であると感じた。また、加藤さんの講演を聞き、「がんになっても生活の質を高めることができる」という項目では、21%増加した。理由として考えられることは、加藤さんががんと告知された時は孤独と感じたが、今は病院関係者・家族・友人といった相談できるチームがいるから孤独ではないことやがんになってから始めた趣味をととても楽しんで生き生きと生活している姿をみたことにより、がんへのイメージも変わったからではないかと感じた。</p> <p>【今後の取組予定】</p> <p>授業後はがん教育の内容やふりかえりの一部をほけんだよりやホームページに記載し保護者へ発信する。学校としての今後の取組としては児童がより主体的に学べるようにがんについて調べ学習し、疑問に思ったことや知りたいことを実際に医師やがん患者の方に聞いたり、生活の中で自分たちができることがなにかを自分たちで調べて学ぶことが大切であると感じた。また、がんという病気に家族や身近な人がなったときの心の状態や気持ちについても触れておく必要があると感じた。そのため、医師・がん患者の方と一緒に学習するという形で取り組んでいく必要性を感じた。</p> <p>【感想・写真等】</p> <p>〈児童感想の抜粋〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ひとつのがん細胞が1cmになるまでに10年から20年かかるのに1cmから2cmまでの大きさになる期間が1・2年と短いことに驚いた。 ・今までがんになると亡くなってしまうと勝手に思いこんでいたが、薬や手術などで死亡率が低くなることを知って驚いた。がんになったから不幸ということではなく、がんになったからこそできる新しい趣味を見つけられることも知り、少しだけがんの考え方が変わった。 ・がん細胞は自分の体の中にあることや細胞のミスコピーだということを初めて知った。生活習慣に気をつけて生活をしたいと思った。 ・家に帰ったらお父さんにたばこは控えてねと話そうと思った。大きくなったら検診を受けたいと思った。 ・がんは生活習慣以外にウイルスによる感染があることを初めて知った。

扶桑町立高雄小学校

派遣日時	令和7年12月2日(火) 11時45分～12時30分
対象者	5年生(89名)・教職員(5名)・保護者(3名)
外部講師	がんのピアサポーター 廣田 圭
設定場面	いのちの学習
テーマ	「がん」から「いのち」を考える
ねらい	がんについて正しく理解し、予防のために自分や周囲の人のために何ができるのか考え、伝える。また、いのちの大切さについても考える時間とする。
実施内容	<p>【事前の準備・打ち合わせ等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メールでやり取りを行った。(日時の確認、当日の流れや事前準備が必要な物品の確認、配慮が必要な児童への対応について等) ・当日は、スライドを使用される。PC、プロジェクタ、スクリーン、レーザーポインターの用意が必要。当日使用するスライドは事前にメールで送付していただける。 <p>【当日の概要】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①自己紹介を含め、がんのピアサポーターについての説明 ②がんについての基本的な知識説明・理解のためのクイズ(3問) ③がん罹患の体験談(がんと判明するまでの過程や判明後の心情、治療中の様子について)、がん罹患経験からの学び、現在の生活について ④質疑応答(時間内に質問しきれなかったものは、後日メールのやり取りでお返事をいただき、児童へフィードバック)
成果・感想	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・怖い・かかったら死んでしまうなど、マイナスなイメージのみが強かったが、ならないためにできることや、早期発見をするためのがん検診について学んだことで、自分と周りの人の健康や命について考えることができた。また、明日がくることを当たり前と思うのではなく、後悔することがないように、周りの人を大切にしながら毎日を過ごすことの大切さに気付くことができた。 <p>【今後の取組予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・HPや学校保健委員会等で、学年を超えて保護者への周知を図っていく。 ・保護者参加を特定の学年だけではなく、全校に広げていく。また、参加希望の申し込み方法や参加希望を募る時期も検討したい。 <p>【感想・写真等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・がんはかかったら死んでしまうと思っていたけれど、早期発見をすることで治る可能性が高いと知った。希望がもてた。 ・今日の話が家族にも伝えて、一緒にがん予防をしていきたいと思った。 ・20際になったら、がん検診を受けたいと思った。扶桑町は400円で受けることができると知って驚いた。 ・身近な人ががんや大きな病気になってしまったら、待っているよと伝えたいし、待っているよと言われたら嬉しいと感じた。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;">   </div>